

# 心理臨床 という選択



特集

## 現役臨床心理士・公認心理師に聞く

臨床心理士・公認心理師

若井貴史

インタビュアー

鳴門教育大学大学院 准教授

小倉正義

- ▶ 心理臨床コース 臨床心理学領域 4 つの特色
- ▶ Q&A 心理臨床コース 臨床心理学領域ってどんなところ?
- ▶ 修了生の主な就職先
- ▶ 先輩の仕事の現場〈こどもの発達に関わる〉

鳴門教育大学大学院  
学校教育研究科  
修士課程  
人間教育専攻



# 現役臨床心理士・公認心理師 に聞く



## 臨床心理士になる

**小倉** 鳴門教育大学大学院を修了して、今どうのことをされているか概略をお話していただけますか。

**若井** 2010年に大学院を修了しまして、その年の4月に現在も務めている京都府にある単科の精神科病院に入職して、常勤の心理職として働いています。病院では、主に心理検査と認知行動療法のカウンセリングをしています。臨床経験もそんなにしていないうちから研修会で講師もやらせてもらったり、病院からの出張という形で、私立高校のスクールカウンセラーや企業でのカウンセリングも週一回ずつさせてもらっています。

昨年あたりからは、もちろん所属病院の許可を得て、個人事業主として「哲学心理研究所」というのを開業しました。主に、専門家対象の認知行動療法の研修と、企業組織対象のメンタルヘルス研修という二つの柱で、ときどきSV(スーパービジョン)をやらせてもらったりもしています。私はもともと京大の学部では哲学が専門でしたので、

二年くらい前から『自由学藝』という論文集を出して、そこで連載をしたりもしています。

**小倉** 京都大学で、もともとは哲学をやっていたということですね。そこから鳴門教育大学の臨床の方に来られたというのは、どうしてだったんですか？

**若井** 三浦つとむという言語学者がいて、代表作の『認識と言語の理論』は、私が卒論でとりあげた本なんですけど、その方の認識論とかその系列を勉強していると、「認知療法」と同じようなことを言っているなということに気づきました。それで「認識論」を極めようと思ったんですが、本だけ読んで口ツクがああ言ってるとか、カントがこう言ってますとか、それだけでは人間の認識はわからないんじゃないかと……。

ある本に「法律の専門家が弁護士であるように、心の専門家は臨床心理士です」と書いてあって、臨床心理士は弁護士と並ぶようなすごい資格なのかと……。それで臨床心理士になろうと思って大学院を探しました。精神分析とかよりも認知行動療法が自分の認識論に近いなというのがあって、

国公立の鳴門教育大学に決めました。

**小倉** 鳴門教育大学の大学院はどうでしたか？

**若井** めちゃめちゃ楽しかったですね。人数が多いですし、社会人経験者もいましたし、私も五年くらい社会人をしたあとに入学したんですけど、微妙な若さだったので、年齢不詳で通っていました(笑)。なにより授業が良かったですね。学部の時の教授は、自分の研究の成果を延々としゃべっているという感じだったんですけど、鳴教大の先生は教育者という感じで、どの先生も好きでした。臨床の先生だから言葉を大切にされていて、ここの先生方は凄い人たちだなと感動しながら、授業を受けさせてもらいました。

## 自分の経験を臨床に活かす

**小倉** 仕事とプライベートのバランスをとるために何かされてきたことはありますか？

**若井** 修了する2010年の3月に大学院で知り合った今の奥さんと結婚して、仕事を始め、それから娘が二人生まれました。奥さんに仕事を休んで、育児を中心にやらせてもらっていたんですけど、私のほうも子育てと一緒にやっていくんだということで、なかなか大変でした。特に一人目の時は、私が休みの日に娘を見ていました。そうすると、仕事しているか育児をしているか自分の時間がなく、勉強もできないんです。娘を背負って公園をぐるぐる歩きながら本を読むという二宮金次郎形態をあみだし、めちゃめちゃ読書が進みました(笑)。子連れで託児所を利用すると参加料が半額になるという所もあり、できるだけそういう研修に私が娘を連れて行くようにして、奥さんの負担を軽減していました。

**小倉** だいぶお子さんも大きくなりましたか？

**若井** 上の子は小学一年生、下の子はまだ一歳半くらいです。さすがに二人目になると、ちょっと慣れてきて手の抜きどころが分かってきたという感じです。わが子に行動分析学

を適用して、第一声に「パパ」と言わせようとして「パパパパパ」とモデリングを繰り返したり、パパに近い音を出したら、よしよしと褒めたりして、臨床で使っている技法を子育てでも活かしています。また、育児ストレスのお母さんのカウンセリングとかでも、子育てを自分が経験しているからこそ実感を含めて言えますし、行動分析学の話をする時も、自分のエピソードをおり混ぜてしていました。

**小倉** 臨床をやっていくうえで大切にしていることとかありますか？

**若井** 人との出会いを大切にするとか、感謝するとか、謝るところは素直に謝るとか、そういうことは心がけているつもりです。ハワイに伝わる「ホ・オポノポノ」ってご存じないですか。「ありがとう」「ごめんない」「許して下さい」「愛してます」という四つの言葉を唱えるだけで幸せになるみたい……それを心がけている感じですかね。

**小倉** それは自分の中で大切にされていて、それ自体が自分に返ってきているという感じがあるんでしょうか？

**若井** そうですね。まさに臨床でも使えるといえますか……。夫婦の中でもありがとうを大切にするように話し合っとうまくいきました。全く臨床でも同じようなケースがあって、この話をしたら関係性が改善したということもありました。

**小倉** 理論的にということもあるし、経験的にみたいなことあるし、今の臨床の中に混ざっている感じでしょうか。

**若井** そうですね。もう少し理論的な話をすると、結婚した当初は違う生活をしていた二人が一緒に生活をするので、お互いストレスフルだったと思うんです。それで私は、自分で自分に認知療法を試しました。エクセルシートに、こんな出来事こんな認知があったこんな感情を抱きました、別の考え方をしたら楽になりました、というようなことを続けて記録したのです。その結果、自分のストレスの原因が明らかになったり、自分の感情は「怒り」が多いことに気づいたり、「怒り」を引き起こす認知の偏りも分かってきたりしま

した。そういう成果をクライアントさんにもフィードバックするというか……仕事にもそれを活かすことができたかなと思います。

## 心理職の魅力について

**小倉** 公私ともにこれからのビジョンがありますか？

**若井** 今やらせてもらっている仕事は、本当に幅広くやらせてもらっていてありがたいなと思います。大きくは、私がそもそも臨床心理士になったのも、哲学という認識論というか弁証法といわれるものを社会に広めていきたい、それを使って人間の精神や認識の謎を解きたいということがあったので、究極的にはそういうものをやっていきたいです。



OGURA Masayoshi

## 小倉正義

鳴門教育大学大学院 准教授  
臨床心理士・公認心理師

発達臨床の現場に  
15年以上関わってきている



**小倉** なるほど。最後に心理職には、どんな魅力がありますか？

**若井** 「心理」というのは、この世界の中で一番運動変化がはげしくて、多様性が大きい存在だと思っています。気分が一時間前と180度変わるということもありますし、そんなものは物質の世界では他にないですね。そういった変化の激しいものと触れあうというのは、非常に面白いと思います。まだまだ謎がたくさんあります。臨床や経験の中から、人間の心というものはいかにいうものなのかと、徐々に分かってくるという意味でも、チャレンジし甲斐のあるひとつの分野だということは間違いのないと思います。なにより、カウンセリングでこちらが勉強した方法で上手くいって、クライアントさんの困り事が

**小倉** 今の大学生や鳴教大に来るだろうという人だけじゃなく、冊子を読んでもいろいろの人たちにメッセージを伝えるとしたら何かありますか？

**若井** なかなか難しいですね。鳴門教育大学に限っていうと、人数も多いし、大学も大きい。いろんな人が来られていて、多種多様な人と出会えます。社会人経験者もいるし、学校の先生もいるし、大学の教員もいろいろの方がいらっしゃる。そういった生の人間から学べるという意味でも非常にいいと思います。

解消して、喜んでもらえるというのは非常にやりがいがありますよね。クライアントさんの人生のいろいろな歴史を学べるという点では、生の人間から様々な経験を教えてもらえるということは大変興味深いですね。

**小倉** 滞っているものの流れを変える役割を任される、という感じですね。今言っていたように、「心の魅力」というのがもともとあるので、そこにどうやって自分に関われるかということを考えるだけでも、すごく魅力的な学問じゃないかなと思います。

今日はありがとうございました。



WAKAI Takafumi

## 若井貴史

鳴門教育大学  
2009年度修了生

長岡病院に勤務  
哲学心理研究所を開業  
臨床心理士・公認心理師



## 実践的で学際的な教育研究

本コースのカリキュラムは非常に盛りだくさんで、厳しいものです。心理職として働くための専門的訓練、とくに臨床心理学と精神医学の基礎知識を身につけ、共感的理解に努める態度や感性を養うことを重視しています。実践的力量育成の一環として、関係諸機関との連携による学外施設実習も積極的に行っています。

心理臨床コース  
臨床心理学領域  
4つの特色

## さまざまな専門性をもつ教員

学校教育領域、医療保健領域、福祉領域等、さまざまな分野を専門とする教員が揃っています。各分野における専門的な知識と実践を学び、多様な領域で活躍できる高度な実践的力量を有する心理職(公認心理師・臨床心理士)、および生徒指導・教育相談の実践力を有する現職教員の育成を目指します。

## 専門的できめ細やかな指導

専門的できめ細やかなゼミ指導のもと、修士論文の作成に取り組みます。ゼミの指導教員は、院生の希望を尊重しながら調整し、例年5月頃に決定します。また、教員間で連携した授業や指導体制により、ゼミ担当以外の教員から指導を受ける機会も豊富にあります。心理臨床家として広い視野を持つことができます。

## 多彩な経歴をもつ仲間たち

卒業後すぐに入学してくる院生(ストレートマスター)だけでなく、現職の学校教員や社会人経験者など、さまざまな経歴をもつ院生が多く在籍しています。学校現場をはじめとする、多様な現場や領域の話聞くことができます。多彩な経歴、出身、年齢の学生が、お互いのよさを認め合いながら目標に向かって切磋琢磨しています。

## 心理臨床コース 臨床心理学領域ってどんなところ？

Q 取得できる資格は何ですか？

A 4年制大学等で必要な単位を取得し卒業した後、本学大学院で必要な単位を取得し修了すれば、国家資格である公認心理師の受験資格を得ることができます。また、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会が認定する臨床心理士の受験資格も得ることができます。受験資格を得るだけでなく、即戦力となるような実践力の養成に力をいれています。

Q 教育大学なので、教育領域の実習や講義に力を入れているのですか？ 就職は教育関係に限られるのでしょうか？

A 教育大学ですので、教育領域の教育研究や実習に力をいれていますが、医療保健領域、福祉領域など他の領域についても同じくらい教育研究や実習に力をいれています。また修了生は、全国各地、さまざまな領域で就職し、活躍しています。

Q 学内で開かれている勉強会はありますか？

A 公務員試験対策や臨床心理士・公認心理師試験対策など、院生が自主的に開いている勉強会等がいくつかあります。また、徳島県公認心理師・臨床心理士協会が開催する研究会に、院生時代から参加できます。

Q 大学では心理学を専攻していませんでした。大学院の専門的な勉強についていけるのか心配です。

A 心理学系以外の学科や学部出身者も多く、授業は専門的知識がなくても分かるところからスタートしますので、大丈夫です。大学院で基礎からしっかり身につけて下さい。授業やゼミで文献も紹介しますし、質問も歓迎です。心理系以外の学科や学部出身者も臨床心理士の受験資格は取得することができます。ただし公認心理師の受験資格のためには大学で必要な単位を修得し、卒業していることが必要です。

### 修了生の主な就職先 [現職教員は除く]

- 教育領域 教育委員会(スクールカウンセラー)、教育支援センター、大学(学生相談員)、小中高等学校・特別支援学校(教員)など
- 福祉領域 児童養護施設、児童心理治療施設、母子生活支援施設、児童発達支援センター、発達障害者支援センター、児童発達支援事業所、地域若者サポートステーション、青少年支援センター、保育所など
- 医療領域 総合病院、精神科病院、精神科クリニック、小児科、クリニックなど
- 司法・矯正領域 警察、少年院、少年鑑別所など
- その他 地方公務員、心理職・福祉職、企業など

※大学院博士課程進学や研究生を選択する方もいます。  
※北海道から沖縄まで幅広い地域に修了生が就職しています。

### 先輩の仕事の現場 こども発達医療センター心理士

鳴門教育大学大学院で過ごした2年間は心理職を目指す自分と向き合うための貴重な時間となりました。講義の中では資格取得のために必要な心理学の基礎や心理職としての姿勢を学びます。実習では、教育・医療・福祉関係と様々な分野を経験することができ、現場の中での心理職の役割を学ぶことができます。また、学内にある心理・教育相談室でのケース担当も行います。スーパーヴァイズではスーパーヴァイザーの先生にご指導をいただきながら、一回一回の面接を振り返るなかで、自分自身についても振り返り、クライアントのためにカウンセラーとしてできることを考えていきます。また、事例検討では様々な考えに触れながら、見立てる視点を広げていきます。私は、様々な視点で見立てることの難しさや、クライアントのことを理解しようとするこの大切さを感じました。

現在、私は療育施設にて発達に困り感を抱えておられるお子さんや、そのご家族と関わらせていただいています。大学院で学んだことは、業務の中で関わる方々のために心理士として何が出来るかと考える際に役立ち、私にとっての支えとなっています。(佐々木 麻衣・H29年度修了)

【問い合わせ先】 〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島748

鳴門教育大学 大学院学校教育研究科 人間教育専攻 心理臨床コース臨床心理学領域  
大学院入試委員 小倉正義 mail.mogura@naruto-u.ac.jp